

報道関係者各位

エフセキュアのクラウド環境向けセキュリティ製品、 ヤフーのカスタマーサポート部門で採用

～ 添付ファイルや URL の安全性を確保、スタッフ／ユーザーに大きなメリットを提供 ～

2020年7月1日
エフセキュア株式会社

先進的サイバー・セキュリティ・テクノロジーのプロバイダである F-Secure (本社: フィンランド・ヘルシンキ、CEO: Samu Konttinen、日本法人: 東京都港区、以下、エフセキュア)は、同社の Salesforce 環境向けセキュリティ対策製品である「F-Secure Cloud Protection for Salesforce」(以下、CPSF)が、ヤフー株式会社 (本社: 東京都千代田区、以下、ヤフー)に採用されたことを発表しました。

クラウドサービスは効率性／柔軟性／可用性／コストなど、多くの点でオンプレミスでの運用より優れているとされています。しかし、利用企業にとってのセキュリティリスクはゼロにはなりません。サービスプロバイダはプラットフォームのセキュリティを提供し、利用企業はアップロード／ダウンロードするコンテンツのセキュリティに責任を持つ、「責任共有」モデルであり、コンテンツがクラウド上で安全にホスティングされていても、標的型攻撃や単純な人為的ミスにより、攻撃者にデータをアクセスされる可能性は存在します。エフセキュアがセールスフォース・ドットコムと共同で設計・開発した CPSF は、ユーザーがクラウド環境にアップロード／ダウンロードしたコンテンツがマルウェアであるか、そして悪意がある可能性のある URL をスキャンし、そしてことでセキュリティリスクを抑制し、Salesforce のネイティブなセキュリティ機能を補完／強化するものです。

8,000 万もの一般ユーザーを持つヤフーのカスタマーサポート部門には、同社の各サービスを合算すると 1 日あたり数千件の問合せがあります。同社が問合せ受付サービスのプラットフォームとして利用しているクラウドサービスが Salesforce であり、同社では更なるセキュリティ強化のために CPSF を採用しました。ヤフーでクラウドオペレーターチームのリーダーとしてカスタマーサポートのためのシステムの運用管理を担う徳山 敦 (とくやま あつし) 氏は CPSF 導入の背景について、次のように語っています。

「当社では、お問合せをいただくお客様側の個々のセキュリティ環境は把握できません。PC やスマートフォンにアンチウイルスソフトを入れていなかったり、OS が適切にアップデートされていないことも考えられ、添付ファイルにマルウェアなどが混入されていた場合はそれが保存・外部転送されてしまうリスクも考慮しなければいけません。クラウド上のコンテンツに対するセキュリティの担保は利用企業側が責任を持つものであり、ヤフー側で何らかの対策をすることが急務でした。CPSF は、F-Secure Security Cloud とクラウドとの間を API 連携するため、Salesforce のパフォーマンスを維持したまま安全性の検証をおこなうことができました。」

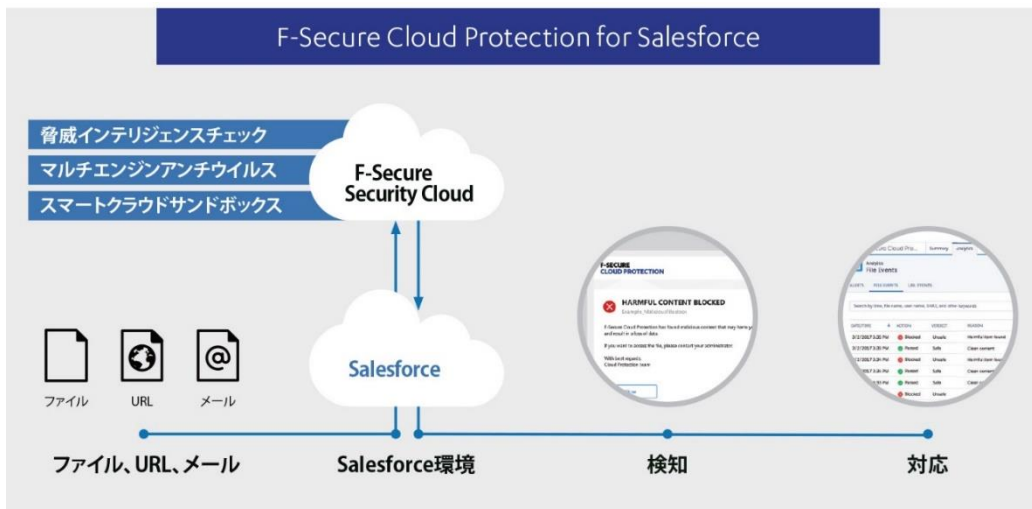
ヤフーによる F-Secure Cloud Protection for Salesforce の採用について、エフセキュアでグローバルアライアンスのリーダーを務める Rasmus Almqvist (ラスマス・アルムクヴィスト) は次のように語っています。

「全てのビジネスは信頼の上に成り立っています。ヤフー様による CPSF の採用は、同社がクラウドセキュリティの本質を深く理解されており、長年に渡って築いてきたユーザー様や社会からの信頼を、悪意のある攻撃者によって破壊されることのないよう、セキュリティに対して強くコミットされていることの表れと言えます。」

現在ヤフーではカスタマーサポート部門に勤務する数百名のスタッフが CPSF を利用しており、スムーズな運用がなされているということです。

「管理画面や通知のデザインが明瞭なため、コミュニケーターが IT に精通している必要がないのです。また、スキャン時のタイムラグなどもほぼ発生せず、CPSF の存在を意識することはありません。さらに、従来は禁止していた添付

ファイルの閲覧という問題が解消されたためお客様にも当社スタッフにも大きなメリットをもたらしています。」と、徳山氏は締めくくっています。



F-Secure Cloud Protection for Salesforce の詳細については、以下の Web ページをご覧ください。

<https://www.f-secure.com/jp-ja/business/solutions/collaboration-protection/cloud-protection-for-salesforce>

エフセキュアについて

エフセキュアほど現実世界のサイバー脅威についての知見を持つ企業は市場に存在しません。数百名にのぼる業界で最も優れたセキュリティコンサルタント、何百万台ものデバイスに搭載された数多くの受賞歴を誇るソフトウェア、進化し続ける革新的なセキュリティ対策に関する AI テクノロジー、そして「検知と対応」。これらの橋渡しをするのがエフセキュアです。当社は、大手銀行機関、航空会社、そして世界中の多くのエンタープライズから、「世界で最も強力な脅威に打ち勝つ」という私たちのコミットメントに対する信頼を勝ち取っています。グローバルなトップクラスのチャネルパートナー、200 社以上のサービスプロバイダーにより構成されるネットワークと共にエンタープライズクラスのサイバーセキュリティを提供すること、それがエフセキュアの使命です。

エフセキュアは本社をフィンランド・ヘルシンキに、日本法人であるエフセキュア株式会社を東京都港区に置いています。また、NASDAQ ヘルシンキに上場しています。詳細は <https://www.f-secure.com/en/welcome> (英語) および https://www.f-secure.com/ja_JP/ (日本語) をご覧ください。また、Twitter @FSECUREBLOG でも情報の配信をおこなっています。

※以下、メディア関係者限定の特記情報です。個人の SNS 等での情報公開はご遠慮ください。

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

エフセキュア株式会社

広報部 秦 和哉

TEL: 03-4578-7745 (直通)

japan-pr@f-secure.com